

第1 平成26年度上半期の財政状況

I 補正予算のポイントは何か。 ～ 予算編成のポイント ～

平成26年度当初予算は、これまでの知事選挙の年と同様、新規事業など政策性の強い施策の一部の経費の計上を見送った、いわゆる「準通年型予算」として編成しました。6月補正予算では、この当初予算に本格的な肉付けを行う予算として、石川の産業の成長に向けた取り組みの強化をはじめ、北陸新幹線金沢開業対策、北陸新幹線を活かしながら中長期的視点に立って県勢を発展させていくための施策、県民生活の安全・安心の確保等といった点に特に重点を置いて予算編成を行いました。

9月補正予算では、集中豪雨等への対策強化のほか、県立中央病院の建て替えなど、6月補正予算編成以後の情勢の変化や事業の進捗等を踏まえ、新たな対応が必要となった施策について予算編成を行いました。

II どのような事業が盛り込まれているのですか。 ～ 補正予算の重点施策 ～

< 6月補正予算 >

1 景気回復と将来の成長に向けた経済対策の強化

(1) 新たな産業振興指針に沿った本県産業の成長促進

- ・ 新技術・新製品の開発・販路開拓支援の強化
ものづくり企業が取り組む新技術・新製品の開発や生産工程改善等への支援に向けたいしかわ次世代産業創造ファンドの拡充
3Dプリンタ活用ラボの整備（工業試験場内）
- ・ 国際展開へのきめ細やかな支援
シンガポール事務所の開設（H26年秋）
ニッチトップ企業の海外展開への集中支援
- ・ 炭素繊維複合材料等の次世代産業の創造
炭素繊維複合材料の開発に取り組む東海・北陸地域の連携促進
- ・ 戦略的企業誘致の推進
雇用拡大関連企業立地促進補助金の対象企業の拡大（物流施設、植物工場）
- ・ 産業人材の総合的な確保・育成
新技術の開発など企業の成長をけん引する中核人材の確保
将来の海外事業を担う人材の育成

(2) 農林水産業の再生と成長産業化に向けた体制の構築

- ・いしかわ農業総合支援機構の設置
- ・いしかわ農業参入支援ファンドの創設
- ・他産業との連携による収益性の向上
コマツ・トヨタとの連携による先進的農業経営モデルの確立

ICTを活用したブルドーザー



2 北陸新幹線金沢開業に向けた誘客対策の強化と開業効果の全県波及

(1) 首都圏等における戦略的な誘客対策の推進

- ・首都圏アンテナショップの開店（H26年10月オープン）

石川県アンテナショップ「いしかわ百万石物語・江戸本店」



(2) 開業効果の全県波及に向けた受け地の魅力向上

- ・石川県金沢観光情報センターのリニューアル（工事着手）
- ・新幹線金沢開業歓迎イベントの実施、全県を挙げての開業イベントの開催準備
- ・県内を周遊する広域観光旅行商品の造成促進

(3) 北陸新幹線を最大限に活用した中長期的視点に立った新たな施策

- ・文化振興条例（仮称）の制定、文化振興指針の見直し
- ・文化財保存修復工房の移転整備（実施設計）
- ・JRとタイアップした移住体験モニターツアーの実施
- ・金沢城公園第三期整備計画の策定（鼠多門・鼠多門橋の復元、玉泉院丸庭園の周辺整備など）

整備中の玉泉院丸庭園の様子



3 県民生活の安全・安心の確保

- ・子ども・子育て支援新制度の導入準備（保育所、幼稚園関係者等で構成する検討会の設置）
- ・いしかわエンゼルプランの改定
- ・介護・福祉人材の総合的確保・育成（行政・業界が一体となった協議会の設置など）

4 未来を拓く心豊かな人づくり

- ・「高等学校『学びの力』向上アクションプラン（仮称）」の策定
- ・日本スポーツマスターズ2015石川大会の開催準備

5 魅力ある産業としての農林水産業づくり

- ・新たな里山ブランド「いしかわジビエ」の普及に向けた研究
- ・認定地域による「世界農業遺産広域連携推進会議（仮称）」の設立

6 新たな長期構想策定に向けた準備

- ・北陸新幹線金沢開業後の社会・経済情勢の変化を見据えた新たな長期構想の策定着手

< 9月補正予算 >

1 県民生活の安全・安心の確保

- ・集中豪雨等への対策の強化
- ・県立中央病院の建て替え（工事着手）
- ・危険ドラッグ対策の推進

2 北陸新幹線開業を睨んだ交流人口の拡大に向けた取り組み

- ・連続テレビ小説「まれ」を活用した能登の魅力発信
- ・大手飲食店情報検索サイトと連携した観光情報の提供
- ・文化財保存修復工房の移転整備（工事着手）

3 競争力のある元気な産業づくり

- ・石川の食文化総合力の東南アジアへの発信
- ・農林水産業基幹技術開発トライアル基金の創設

4 時代を先取りするいしかわの新たな取り組み

- ・トキ公開展示に向けた準備（公開展示施設の整備（工事着手））

いしかわトキふれあいセンター（仮称）の整備イメージ



5 県議会議員補欠選挙の執行（金沢市選挙区）

Ⅲ 予算額はいくらですか。 ～ 一般会計補正予算と現計予算の状況 ～

歳出性質別予算

△印減(単位:千円、%)

区 分	上半期補正予算額			平成26年度9月 現計予算額 A	平成25年度9月 現計予算額 B	増減率 (A-B) B
	6月補正予算額	9月補正予算額	合 計			
1 職 員 費	-	830	830	137,465,220	140,437,569	△ 2.1
2 投 資 的 経 費	22,159,762	5,355,322	27,515,084	93,903,455	95,478,814	△ 1.6
一 般 公 共 事 業	11,788,239	1,646,000	13,434,239	40,644,257	45,880,939	△ 11.4
国庫補助建設事業	906,150	324,484	1,230,634	4,918,794	2,426,129	102.7
一 般 単 独 事 業	6,743,063	2,611,568	9,354,631	35,189,545	32,840,678	7.2
災 害 復 旧 事 業	-	773,270	773,270	4,491,467	5,272,364	△ 14.8
国直轄事業費負担金	2,722,310	-	2,722,310	7,468,152	7,800,135	△ 4.3
受 託 事 業	-	-	-	1,191,240	1,258,569	△ 5.3
3 土 木 施 設 維 持 補 修 費	-	-	-	1,812,217	1,812,217	0.0
4 一 般 行 政 経 費	14,874,143	1,776,528	16,650,671	184,910,933	198,599,611	△ 6.9
国庫補助のあるもの	799,071	1,608,330	2,407,401	60,818,552	58,195,918	4.5
国庫補助のないもの	14,075,072	168,198	14,243,270	124,092,381	140,403,693	△ 11.6
5 公 債 費	-	-	-	94,952,760	92,392,677	2.8
合 計	37,033,905	7,132,680	44,166,585	513,044,585	528,720,888	△ 3.0

- 上半期補正予算は、総額 442 億円となり、当初予算と合わせた予算規模は 5,130 億円、平成 25 年度 9 月現計予算に比べ 3.0%減となっています。

ひとくちメモ

投資的経費

道路、学校、公営住宅の建設等その支出の効果が資本形成に向けられ、施設等がストックとして将来に残るものに支出される経費で、普通建設事業費及び災害復旧事業費からなっています。普通建設事業のうち、国の補助金・負担金を受けて行う事業が「一般公共事業」、国からの補助金を受けることなく独自に実施する事業が「一般単独事業」です。

一般行政経費

すべての行政事務に要する経費から、人件費、投資的経費、維持補修費、公債費を除いたものですが、一般的には、投資的経費がハード整備に要する経費であるのに対し、一般行政経費は産業振興、少子・高齢化対策、観光振興、環境対策などのソフト事業に要する経費ということが出来ます。

歳出目的別予算

△印減(単位:千円、%)

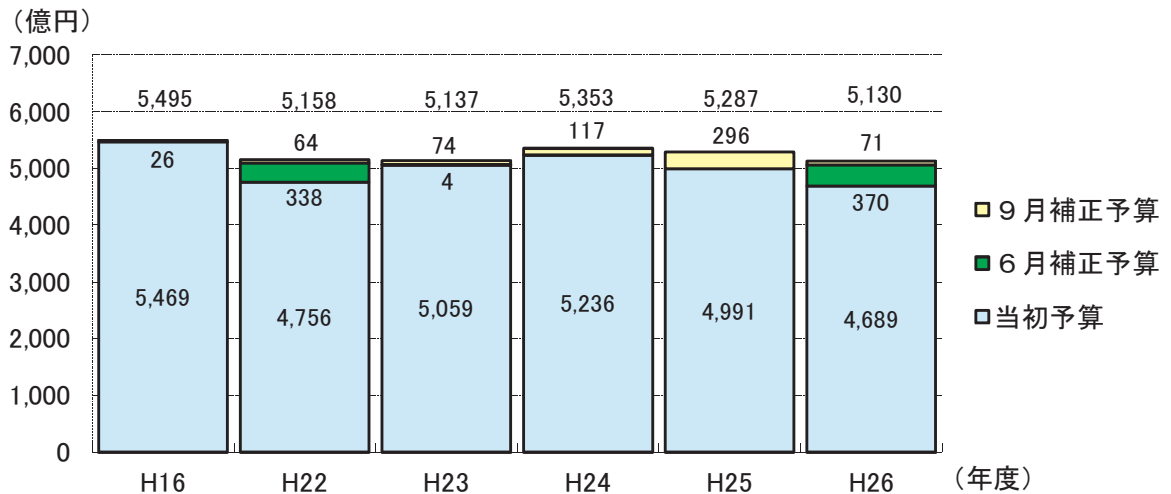
区 分	上半期補正予算額			平成26年度9月	平成25年度9月	増減率 (A-B) B
	6月補正予算額	9月補正予算額	合 計	現計予算額 A	現計予算額 B	
1 議 会 費	-	-	-	1,170,527	1,156,423	1.2
2 総 務 費	5,000	99,475	104,475	52,669,909	51,343,840	2.6
3 企 画 県 民 文 化 費	246,400	61,798	308,198	21,468,971	17,181,497	25.0
4 健 康 福 祉 費	1,871,932	466,972	2,338,904	76,188,911	81,304,889	△ 6.3
5 環 境 費	164,769	1,650,761	1,815,530	5,469,708	3,762,434	45.4
6 商 工 労 働 費	8,390,345	16,700	8,407,045	35,116,853	29,215,117	20.2
7 観 光 費	223,550	14,000	237,550	2,804,358	12,401,018	△ 77.4
8 農 林 水 産 業 費	9,462,845	130,000	9,592,845	29,092,056	25,957,922	12.1
9 土 木 費	16,226,022	3,857,756	20,083,778	60,855,303	76,741,170	△ 20.7
10 警 察 費	270,777	55,493	326,270	24,582,563	24,725,095	△ 0.6
11 教 育 費	172,265	6,455	178,720	103,520,530	103,626,132	△ 0.1
12 災 害 復 旧 費	-	773,270	773,270	4,785,340	5,593,299	△ 14.4
13 公 債 費	-	-	-	95,119,556	95,512,052	△ 0.4
14 予 備 費	-	-	-	200,000	200,000	0.0
合 計	37,033,905	7,132,680	44,166,585	513,044,585	528,720,888	△ 3.0

ひとくちメモ

公債費

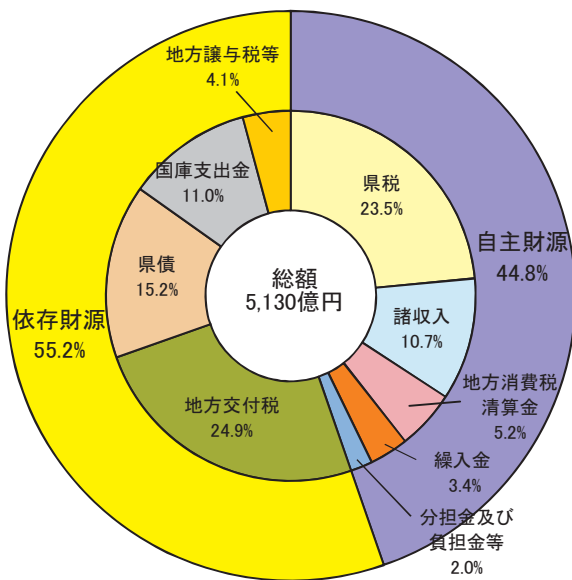
地方公共団体が借り入れた地方債の元利償還金及び一時借入金利子の合算額をいい、人件費、社会保障関係経費（介護保険などの高齢者対策、子育て支援、障害者施策、国民健康保険関連経費など）とともに義務的経費ですが、人件費や社会保障関係経費と違い、過去の債務の支払いに要する経費です。

＜一般会計 9月現計予算の推移＞

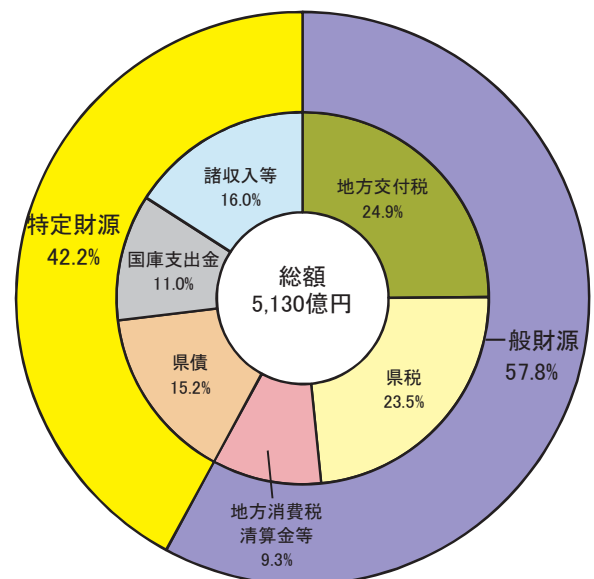


(注) 平成22年度の6月補正予算には県水送水管耐震化事業費 (30億円) が含まれています。

＜歳入 自主財源・依存財源別(現計予算)＞



＜歳入 一般財源・特定財源別(現計予算)＞



(注) 端数処理のため内訳が合計に一致しない場合があります。

